

(中間C)

## 評価分科会総合評価

研究課題名：緊急地震速報高度化のための震度等の予測の信頼性向上技術の開発  
発

評価分科会（地震火山分野）

分科会長：古川信雄

委員：小泉尚嗣、田中正之、泊 次郎、渡辺秀文

評価年月日：平成24年2月9日

### 1. 総合評価

- (1) 継続の可否             継続                             中止  
(2) 修正の必要の有無     修正の必要あり         修正の必要なし

### 2. 総合所見

東北地方太平洋沖地震とその余震発生を通じて、緊急地震速報は国民に浸透し、その重要性と限界は広く認識されるにいたった。しかし、現在の緊急地震速報には、M9クラスの巨大地震に対しては広大な高震度域に伴ういくつかの不備や不完全さ（例えば、警報更新の打ち切り、複数地震発生時の誤報）が顕在化した。本研究課題は、これらの問題点解決に取り組んでおり、社会的意義の高い研究である。

東北地方太平洋沖地震で顕在化した緊急地震速報の課題に対して即座に対応するなど、研究は概ね順調に進捗している。複数地震発生時の誤報の問題を解決するため、従来の手法にこだわらず実時間モニタリングの手法を見出した点は高く評価できる。この手法は、断層の広がりの問題にも対応でき、計画目標を変更することは妥当だと考える。新手法の導入にあたっては十分な科学的評価を行うことが重要であり、いたずらに実用化を急ぐ必要はないが、今後の地震防災のためにもできるだけ早期の業務化が期待される。